

令和 4 年 2 月 2 日

「教員養成フラッグシップ大学推進委員会」所見

- 文部科学省は、昨年 8 月 6 日（金）から 11 月 12 日（金）まで「教員養成フラッグシップ大学」を公募しました。本事業は、
 - （1）先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発
 - （2）全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開
 - （3）取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献の全てについて、優れた研究・人材育成拠点として全国的な教員養成の高度化に貢献できることが見込まれる大学を文部科学大臣が指定し、我が国の教員養成の在り方を変革していく牽引役となることを求めるものです。

- 中央教育審議会初等中等教育分科会教員養成部会教員養成フラッグシップ大学推進委員会では、申請があった 14 件の構想のうち、事業の構想、学外との連携体制、学内の教育・研究基盤及び成果の全国展開の仕組みの構築等について審査を行い、特に優れた 4 件の申請を採択すべき構想として選定しました。

- 選定された各大学には、以下の点にも考慮したうえで、構想が着実に実施されることを期待します。
 - （1）自大学の課題解決のみならず、教員養成大学・学部以外における教員養成の高度化・機能強化に資する観点を含め、将来的に我が国の教員養成全体の課題解決につながるモデルとしての取組とすること。
 - （2）人的・物的・資金的リソースの提供等も含めた様々なステークホルダーとの連携・協働を介して、教員養成の課題解決を主導する取組とすること。
 - （3）5 年先を見据えたガバナンス体制をしっかりと構築すること。
 - （4）他大学、研究機関、教育現場、教育行政関係機関、NPO、民間事業者等と緊密に連携するとともに、教員養成フラッグシップ大学間での連携・協働も積極的に検討・推進すること。

- 今回、残念ながら選定に至らなかった大学においては、申請いただいた構想に対する本委員会からの意見をお伝えしますので取組の参考にしていただくとともに、今後も地域や他大学等との連携のもと、各大学の特色を生かした先導的な教員養成に取り組んでいただくことを強く期待いたします。

教員養成フラッグシップ大学推進委員会